

タイトル	ものを大切に作る心を育てる「筆塚集会」
名称(学校・地域)	千曲市立上山田小学校
日時・場所等	毎年11/27 (休日の場合はこの日より前の平日) 朝の時間に実施
ホームページアドレス	http://www.chikuma-ngn.ed.jp/~kamiyamadael/

【特色ある教育活動の内容】

上山田の地は教育に熱心な地域であり、多くの筆塚が建てられています。昭和57年、筆塚の存在を知った4年生の子ども達から、『「字が上手になりたい」とか、「1年間勉強させてくれてありがとう」の感謝の意を表していくために、私達の学校にも筆塚がほしい』という願いが出されました。その願いが全校に広まり、父母教師会(PTA)や当時の上山田町教育委員会の協力によって、上山田小学校に筆塚が建立されました。建立するにあたり、全校児童が千曲川まで行って石を運んだり、筆塚の石ほりを行ったりして全校が一丸となって筆塚造りに励んだそうです。それらの様子については、校内に掲示されている「昭和57年度卒業記念制作の版画作品」に表されています。そして筆塚が建立された11月27日を「筆塚の日」として定めました。

第1回の筆塚建立記念誌に載せた6年生の子どもたちの作文には、次のことが書かれています。「この筆塚の意味は2つあると思います。一つは使い古した筆・鉛筆を埋めて供養する、という意味があり。もう一つは色々なことを教えてくれた先生に感謝の気持ちとして筆塚を建てるのです。…(中略)…将来この筆塚を見て、そこに埋められた自分の鉛筆、みんなで石を拾いに行ったこと、記念に埋めた石のことを思い出し、いつまでも筆塚と共に、思い出を忘れずに、大事にしたいと思います。」

以来40余年にわたって、上山田小学校では「もの大切さ・命の大切さを筆塚の心として」大切に受け継いでいます。



ものを大切に作る心のシンボル



令和4年度の筆塚集会は、コロナ禍のためオンラインで行いました。児童会長から、筆塚集会が行われるようになった由来を説明し、改めて「ものや命を大切にすること」について呼びかけました。その後、各学年ごとで使い古された文房具を筆塚に納めて集会は終わりましたが、6年生は小学校最後の筆塚集会を終えた感想を、次のように書いてくれました。

◇今日筆塚集会がありました。私たちの学校は、約40年前から文房具に感謝の気持ちをもって納める「筆塚」があります。今も物を大切に作る心のシンボルとして続いています。今日は最後の筆塚集会でした。6年間、物を大切にすることはとても大切なことだということを筆塚で教えてもらいました。だんだんと物の気持ちも考えられるようになりました。筆塚で習った心をこれからも持っていきたいです。

◇朝の時間に筆塚集会がありました。今年も10~20本程度私の鉛筆を入れました。最初に筆塚の説明、次に発表です。どの学年も文房具にとっても感謝していることがひしひしと伝わりました。私はまだ使い終わっていないのに新しい物を買ってしまう癖があるので気をつけたいです。中学生になって新しい文房具をたくさん買いますが、「物の命の大切さ」を常に頭に入れて使っていきたいです。改めて、文房具に感謝！！

◇私達が筆塚に文房具を納めるのは今年が最後です。今までたくさん使ってきたえん筆や消しゴムに感謝を伝えられる機会があるのは、とてもいいなと思いました。筆塚は、ずっと前からあって今まで受け継がれてきています。それはとても素晴らしいことだと、私は思います。私達は卒業して中学に行っても、筆塚の心を忘れずに生活したいです。そして、来年入る1年生にも筆塚を大切にしていってほしいです。

このように、筆塚の心をしっかり受け継いだ卒業生が毎年巣立っていくのが、本校の大きな特色ある教育活動だと考えています。